

課題改善カリキュラム【 体育科 】練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題		研究テーマ		
運動への取り組み方の二極化による能力の個人差		発達段階を意識した一人一人の課題解決の方法		
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点	
中学校	3年	一人一人の運動に対する意欲や能力を上げていくために・・・ ○各種目の要領がきちんと理解できる説明を工夫する。 ○反復練習が可能な時間を確保する。 ○上達度合いを確認するための学習カードを作成する。 ○互いにアドバイスし合うよう促す。	○課題解決のための具体的な練習方法を考え工夫する。 ○全員の技能が向上するための方策を考え工夫する。	
	2年			○運動の楽しさや喜びを味わうとともに基本的な技能を確実に習得し、さらに発展をねらうことができる。 ○仲間と協力し、安全に活動ができるよう心がけるとともに、互いにアドバイスをし合うことができる。
	1年			○運動の楽しさや喜びを味わい、同時に各種目に必要な基本的な技能を習得することができる。 ○仲間と協力して安全に活動ができるよう心がけるとともに、互いによく観察し、考えながら取り組むことができる。
小学校	6年	○児童が個人の課題に応じた活動を工夫できるための「場の設定」をする。 ○互いの協力を促すための声かけをする。 ○個人の課題と成果が見えるための「学習カード」を作成する。 ○動きのポイントを伝えることで、児童同士が小グループの中で動きを見合い、高められるようにする。	○自分に合った課題をもち、練習方法や活動を選んだり、工夫したりする。	
	5年			○運動の特性を味わいながら、その特性に応じた基本的な動きを身に付け、体力を高めることができる。 ○友達と協力し、きまりを守って、課題に向かって全力を出して運動に取り組むことができる。
	4年	○児童が個人の課題に応じた活動を選ぶために「場の設定」をする。 ○児童一人一人が目当てをもって活動するための「学習カード」を作成する。 ○良い動きを伝えることで、児童同士が小グループの中で動きを見合い、高められるようにする。	○動きのポイントを知り、自分に合った課題や練習方法を選ぶ。	
	3年			○活動を工夫して楽しく運動し、多様な動き方を体験することで、基本的な動きを身に付けることができる。 ○友達と協力し、きまりを守って、課題に向かって最後まで運動に取り組むことができる。
2年	○やってみたい、できそうと思えるための「場の設定」をする。 ○小グループを作ることで、児童同士が動きを見合い、良い動きを見つけられるようにする。 ○動きの振り返りができるための「学習カード」を活用する。	○様々な場を設定し、やってみたいと思う場を選ぶ。		
1年			○運動を楽しみ、基本的な動きができる。 ○友達と仲よくし、意欲的に運動することができる。	